

出版物のごあんない

ついに創刊！「流れを変える ～環境市民マガジン～」

この8月、環境市民からマガジン（雑誌）を創刊しました。実は、マガジンの発刊は、環境市民10周年の際につくったすろくに、「マガジンを発刊」というコマがあり、十年越しの夢がかなったことになりました！

持続可能な社会の実現が喫緊の課題となっています。しかし、日本、そして世界は持続「不」可能な社会への道を突き進んでおり、メディアを通して伝えられる情報の多くもその流れに追随しています。一方で、地域に目を向けると、国内外を問わず、持続可能な社会の実現のために、行動し成功している取り組みはたくさんあります。

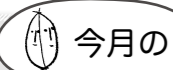
このマガジンでは、そんな社会の「流れを変える」最前線の動き、視点を伝え「持続可能な社会はつくれるんだ！」という実感がもてるような情報発信をめざします。地域から持続可能な社会をつくる行動と提案をし続けてきた環境市民だからこそ伝えられる情報、視点にぜひご注目ください。

価格：500円（税込、送料別）※会員には無料で送付 発行頻度：季刊
購読申込み：環境市民事務局までご連絡ください。



★会員みなさんへ、マガジン宣伝協力をお願いします★

「流れを変える ～環境市民マガジン～」の購読をまわりにおすすめていただけませんか？PRチラシも用意していますので、ご協力いただける方は環境市民まで必要部数をご連絡ください。追ってこちらから送付いたします。



今月の

ご支援いただいているみなさん

(ご寄付) 奥津 登代子さん、楠 正吉さん、瀬島 奈保子さん (6/27 1Day ボランティア) 久保 浩さん、富久 豊さん

新会員インタビュー 佐野 俊幸さん (兵庫県在住)

これまでに都市景観やまちづくり事業に携ったほか、水環境や生態系調査なども経験しました。現在は環境、福祉など全てを含めた神戸市の総合基本計画に携っています。日本の自治体の環境保全活動は、海外と比較して具体性に欠けるのが難点。環境市民で情報や知識をより多く身に付け、しっかりと理論立てた活動に努めたいと思っています。

環境市民の活動にご賛同いただき、ありがとうございます。環境市民は、みなさんひとりひとりのご支援により成り立っています。今後とも活動のご理解とご支援、よろしく願いいたします。

最新情報を発信中！

環境市民の Twitter&facebook

- Twitter アカウント : @kankyohsimin
- facebook <http://www.facebook.com/kankyohsimin>

身近な話題から旬の話題まで環境の視点から情報発信

ラジオ番組 「環境市民のエコまちライフ」

- 毎週月曜午後 1:00 から 1:15 (再放送は火曜朝 7:00 から)
- 京都三条ラジオカフェ (79.7MHz)
- URL: <http://radiocafe.jp>

環境市民に入会しよう！

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください！

● 会員特典：月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。行事などの参加費を割引させていただきます。環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。入会時には記念ポストカードを差し上げます。

● 入会申し込み：郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・送金内容事項をご記入の上、ご入金ください。

[法人会員の他、個人会員(年会費4,000円、入会金1,000円)、シニア・学生会員(年会費3,000円)などの種類があります。詳しくは事務局まで。]

会費・寄付のお振込み先

【郵便振替】
口座番号：01020-7-76578
加入者名：環境市民

● ご寄付：住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、ご入金ください。

だれもが参加できる環境 NGO



<http://www.kankyoshimin.org>
E-mail: life@kankyoshimin.org
TEL: 075-211-3521 FAX: 075-211-3531
〒604-0934
京都市中京区麩屋町通二条下る第二ふや町ビル 405
(月～金 午前 10:00 から午後 6:00、祝祭日除く)



NPO 法人環境市民の月刊会報誌

みどりのニュースレター

2013年8月号 no.243

社員総会とセミナーと中期計画

今号では6月に開催された総会に関連する記事を取り上げてみました。これらの内容は、今後の団体活動の大きな指針となるものです。さて、どのような方向性なのか、またどのような市民活動に参加できるのか？ご確認ください。

報告：

6月15日通常社員総会と同時開催セミナー

6月15日(土)コープイン京都(京都市中京区)にて、第12回環境市民社員総会とセミナー「買い物を変える 社会が変わる グリーンコンシューマー 新たなステージへ」を開催しました。総会では、2012年度事業報告案、決算報告案、定款変更案、役員を選任案、中期計画案の承認、2013年度事業計画および収支予算の報告が行なわれ、これらすべての議案が満場一致で可決されました。

今総会の注目の一つである2013～2017年度中期計画は、今年度よりスタートとなる5か年計画であり、今後の環境市民の活動の中核となるものです。中期計画は四つの分野、環境首都創造・グリーンコンシューマー・環境教育・市民メディアに重点をあてています。各分野においてプロジェクトを設定し、それぞれに「パートナーシップで地域から日本を変える」「買い物で社会を変える」「エコロジカルな未来を創造する人を育む」「市民の発信で社会をかえよう」というプロジェクトテーマを銘打って展開していきます。

総会後には、「買い物を変える 社会が変わる グリーンコンシューマー 新たなステージへ」をテーマにセミナーを行いました。グリーン購入ネットワーク名誉会長 中原秀樹氏、本会理事・大阪グリーン購入ネットワーク副理事長 花田真理子と本会代表理事 枚本育生を交えて、環境市民グリーンコンシューマー活動のこれまでと、そこから見えてきた新たな課題、消費者の行動から社会を変えていくために何ができるのかということに焦点を当ててディスカッションが繰り広げられました。

「環境を大切にしたい生活は我慢なのでしょうか？」冒頭、枚本は参加者に問いかけました。確かにエコロジカルな生活のイメージといえば、電気はなるべく使わない、水の無駄遣いをしない、ごみを出さない、とないないづくしで耐え忍ぶような印象があるかもしれません。そのため続けることが辛くなり、やめてしまうことが多くなってしまいます。

しかし「本当にそうなのでしょうか？グリーンコンシューマーという行動は、そのような我慢ではない、環境を大切にしたいライフスタイルを提案するものなのです」と続け、グリーンコンシューマーガイドの制作過程の話を軸に、これまでの活動を振り返りました。買うことが変わると作る・売ることが変わる。作る・売ることが変わると消費者が買いやすくなる。このような正の回転を促すことが必要です。そのため課題として「日本の商品・サービスを環境配慮型にしていく活動を推し進めていくこと、そのためにもグリーンコンシューマーの活動がどのくらい影響を及ぼしたのか、啓発にとどまらない具体的な社会の仕組みづくりがまだ少ないのではないか、持続可能な倫理的な消費に対してどこまで考えられているのか、グリーンコンシューマーの活動が停滞している



のではないか」などが挙げられ、パネルディスカッションで議論されました。まさにセミナータイトルに示された通りに、新たなステージに向かうためのヒントや課題を発見できた貴重なセミナーとなりました。

総会とセミナーは壇上で話すみなさんの話に惹き

つけられ、あっという間の4時間でした。気候変動、食料危機などあらゆる環境問題、エネルギー問題が待ったなしの現状の中、このセミナーを通して浮き彫りになったところも含め今回決まった新年度計画を元に活動を展開していこうと思います。

(文/インターン 野田 晶子)

解説：

中期計画とリーディング・プロジェクトについて

前頁で述べているように、環境市民は2013～2017年度にかけた中期計画を推進しています。中期計画では団体としてのビジョンを掲げ、それを実現するために各ミッションとリーディング・プロジェクトを設定して、活動を展開しています。

環境市民が掲げるビジョンとは「持続可能で豊かな社会」。これはすべての生きもの・人々が、いつまでもいきいきと暮らせる社会・生活を指しています。私たち市民の手で、いつかこんな世界を実現させるため、五つのミッションを掲げました。

- 1：エコシティを創る 2：経済をグリーンにする
- 3：豊かなライフスタイルを創造する 4：エコロジーな次世代を育む 5：世界の人々やNGOと協働する

これらミッションを達成するため、リーディング・プロジェクトを四つ立ちあげました。ミッションとリーディング・プロジェクトの関係は下図の通りです。

環境市民の活動はこれらリーディング・プロジェクトに基づいています。個々のリーディング・プロジェクトには名称と目的、目標を設けており、概略は以

下の通りです(『 』内はプロジェクト名)。

四つのリーディング・プロジェクト概略

①環境首都創造『パートナーシップで地域から日本を変えるプロジェクト』

持続可能で豊かな社会構築に向けて、これまでの日本社会の仕組みやまちづくりのあり方を根拠的に変革していく。自治体、NPO、研究機関で構成する「環境首都創造ネットワーク」(2012年11月発足)において、地域から持続可能な社会を創るための政策・活動パッケージを考案、検討し、その成果を検証していく。また、情報と人の交流、共同の人材育成と人材流動化の実施に取り組んでいく。

②グリーンコンシューマー『買い物で社会を変えるグリーンコンシューマープロジェクト』

これまでに実践してきたグリーンコンシューマー活動を踏まえ、更なる深化と「持続可能な消費」の実現をめざしていく。また「環境マイスター認定研修事業」を発展させ、消費者からのグリーンコンシューマー活動との相乗効果を構築していく。さらにグリーンウォッシュ防止活動や環境教育プログラムづくりにも取り組んでいく。

③環境教育『エコロジカルな未来を創造する人を育むプロジェクト』

地球規模の環境問題や人類社会の問題などを解決するため、「何をすべきか」を主体的に考え、地域から行動に移せる人を育む。環境教育リーダーを育成し、大人と子どもが一緒に持続可能な社会を築く主体者となる環境教育プログラムを創出する。

④市民メディア『市民の発信で社会をかえよう！』

持続可能な社会づくりを加速させるため、市民の視点からさまざまな情報や視点を伝えていく。独自媒体であるニュースレター、マガジン、ラジオ(環

	リーディング・プロジェクト			
	環境首都創造	グリーン コンシューマー	環境教育	市民メディア
エコシティを 創る	●●●	●●●	●●●	●●●
経済を グリーンにする	●●●	●●●	●●●	●●●
豊かな ライフスタイル を創造する	●●●	●●●	●●●	●●●
エコロジーな 次世代を育む	●●●	●●●	●●●	●●●
世界の人々や NGOと協働する	●●●	●●●	●●●	●●●

ミッションとリーディング・プロジェクト関係図
(マークの数で関連性の強さを表しています)

境市民のエコまちライフ、環境市民Channel)、ウェブサイト(公式サイト等)、SNSなどのソーシャルメディアなど、あらゆるメディアを活用していく。

これらの目的や目標をもとに、環境市民は活動展

開を図っていきます。なお、中期計画詳細については、環境市民公式サイト上に公開していますので、ご参照ください(トップページ>環境市民とは>文書公開>中期活動計画2013-2017年)。

(文/ニュースレター編集部 異 健次)

セミナー&イベント情報



【野の塾】自然住宅を考える見学会(第1回)

8/25(日) 午後1:30集合、午後2:00から3:00見学

環境市民自然住宅研究会では「自然住宅」のあり方を考えるため現地見学会を開催します。第1回は京都府大山崎町にある聴竹居(ちょうちくきょ)を訪問します。聴竹居は今から80年以上前に建築家・藤井厚二によって建てられました。美的価値と日本の気候風土を考え尽くした環境工学的価値を兼ね備え、これからのあるべき「自然住宅」を考えるよい素材になります(聴竹居の近くには見どころが多くあり、当日の状況によって近辺の散策をするかもしれません。参加任意)。なおこの見学会は今後もシリーズで開催していく予定です。ぜひご参加ください。



- 集合場所：JR東海道本線「山崎駅」改札 ●参加費：会員1,200円(聴竹居入場料、保険料)、一般1,500円
- 定員：10人(先着順) ●持ち物：筆記用具、水筒、動きやすい服装で
- 申込み：8月21日(水)までに、お名前、ご住所、TEL、E-mail、会員・一般の別を添えてお申し込みください。



誰でも参加できる1Dayボランティアデー

8/29(木) 午後2:00から6:00頃まで

毎月、おしゃべりしながら会報誌みどりのニュースレター発送作業をしています。どなたでも参加できます!

- ところ：環境市民京都事務局 ●問合せ・申込み：4ページに掲載の環境市民連絡先をご参照ください。

他団体主催情報



受講生募集 自然エネルギー学校・京都2013 ～自然エネルギーで、地域を元気に！～

2013年8月～11月 全5回の連続講座

- ところ：京都エコロジーセンター(京都市伏見区)
<http://www.miyako-eco.jp/about/access.html>
- 参加費：4,000円(全5回分・資料代として)
- 定員：先着30人(原則として全回参加可能な方)
- 主催：京エコロジーセンター
- 企画・運営：自然エネルギー学校・京都(環境市民も参画しています)
- 申込み：京エコロジーセンター 担当(澤田、遠藤)
〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
TEL.075-641-0911 FAX.075-641-0912
renewable-energy@miyako-eco.jp

東京電力福島第一原子力発電所事故後、エネルギーのあり方について、市民の関心が高まっています。地域貢献型の自然エネルギー普及で元気な地域をつくりたい、みんなで力を合わせて、自然エネルギーを設置したい、そんな方はぜひご参加ください。

<申込み方法>

お名前、年齢、性別、所属先、住所、TEL、FAX、E-mailを左記申込先までFAXまたは郵送、メールのいずれかの方法でお送り下さい。※お知らせいただきました情報は、本事業に係る事務連絡や、自然エネルギー学校・京都からの情報提供以外の目的で使用することはありません。

<プログラム(予定)>

- 第1回：自然エネルギー普及の最新動向 ～地域・市民が進める自然エネルギー普及～
8月31日(土) 13:30～17:00 講師：和田武(日本環境学会前会長・自然エネルギー市民の会代表)・田浦健朗(気候ネットワーク)
- 第2回：はじめよう！自然エネルギー事業 ～地域での様々な取り組み～
9月28日(土) 13:30～17:00 講師：豊田陽介(気候ネットワーク)
- 第3回：市民共同太陽光発電の最新動向 ～広がる、おひさま発電所～
10月19日(土) 13:30～17:00 講師：林敏秋(ワーカースコープエコテック)、他
- 第4回：自然エネルギー利用の事例を見に行こう
11月9日(土) 見学先：道の駅「ウッディー京北」、森の力京都ペレット工場、田歌舎
- 第5回：自然エネルギー事業へ向けた課題 ～資金の流れ、電力システムを知ろう～
11月30日(土) 13:30～17:00 講師：竹村英明(エナジーグリーン株式会社)、他